

□ 人材データが分散し、全体像が見えない

- ・データが紙・Excel・複数システムに散らばっている
- ・情報更新のタイムラグが大きい
- ・正しい人材情報を“今すぐ”把握できない

□ スキル・経験の可視化不足

- ・誰がどのスキルを持っているかが把握できない
- ・プロジェクトやポジションに最適な人材をすぐに選べない
- ・育成ターゲット層の特定が難しい

□ 育成計画の一貫性・進捗管理の難しさ

- ・研修、1on1、評価などがバラバラで連動しない
- ・個々の育成状況が見えず、フォロー漏れが発生
- ・ハイパフォーマーの育成が属人的になりがち

□ 適材適所の配置判断が勘や経験に依存

- ・客観データに基づく配置の判断材料が不足
- ・異動・後任者選定が「なんとなく」で決まってしまう
- ・公平性や説明責任を求められても根拠が弱い

□ ハイパフォーマーの把握と活用が不十分

- ・評価・スキル・行動特性が一元的に捉えられない
- ・育成・配置に活かしきれない
- ・離職リスクへの早期察知が難しい

□ 経営層から求められるデータ分析ができない

- ・離職率、エンゲージメント、スキル保有状況などの指標がすぐに出せない
- ・経営会議資料が毎回“手作業”で工数が大きい
- ・人事部が“作業に追われ”、施策検討に時間が割けない

□ 将来の人材不足・組織課題を予測できない

- ・次世代リーダー候補の把握が不十分
- ・スキルギャップの発見が遅れる
- ・戦略的人員計画がつかれない

解決策は裏面へ▶

タレントマネジメントプラットフォーム COMPANY Talent Management

社員を知ることから、組織の未来が動き出す。
すべての人材情報を力に変える、次世代タレントマネジメント。

社内にどのような人材がいるのか、最適な配置が行われているか、育成が順調に進んでいるか—
そのすべての情報が COMPANY Talent Management に最新データとして蓄積されます。
さらに、常に更新される人材データを分析し、その結果を最大限に活用することで、従業員一人
ひとりの能力発揮を支える人事施策の実現を強力にサポートします。

プロダクトアウトライン



COMPANY Talent Managementは、人材情報の分散や可視化不足、育成管理の属人化など、人事部が直面する課題を段階的に解決します。

まず、人材データを一元化し、紙・Excel・複数システムに散らばった情報を統合し、最新のスキル・経歴・配置情報を即座に把握できる基盤を整えます。

次に、統合されたデータをもとに、スキルや経験を可視化し、最適な人材検索や配置判断をサポートすることで勤や属人的な判断に頼らない、説明性の高い適材適所を実現します。

さらに、育成計画、1on1、研修履歴、評価データを連動させることで、個々の成長プロセスを立体的に把握し、ハイパーフォーマーを発掘・育成。進捗の可視化により育成の質とスピードを高めます。

最終的には、離職率やエンゲージメント、スキルギャップなどの組織指標を分析し、経営・人事の意思決定に必要な示唆を提供。未来の人材計画や組織戦略までつながる、戦略人事の実行基盤を構築します。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/ctm/

